

ニッソーモール再生計画

携帯電話が、ない。インターネットも、地球温暖化問題も、バブル経済も、平成の元号もない。時は1979年。熊谷の街にひとつのショッピングセンターが誕生しました。わたしたちニッソーモールです。30数年前の熊谷市の人口は約13万人。にもかかわらず、開店から4日間で20万人を動員したニッソーモールは、市外周辺からもお客様が集う“待望のショッピングセンター”でした。「夢がありましたよね。ワクワクして、ドキドキして。ここで買い物の楽しさを知りました」。ことし還暦を迎えたお客様は、懐かしい記憶を愛でながら当時を振り返ります。「ここは家族の歴史が刻まれている場所。何十年にもわたってたくさんの思い出がある」というニッソーモールは、開店から10年後に1億人の動員を記念した大イベントを催すなど、その後もずっと熊谷の街の一大コミュニティでありつづけてきました。しかし、時代は移ろいます。ライフスタイルは変わり、お客様のニッソーモールへの期待は変化しました。問題は、その変化と期待に応えられているか、です。わたしたちは自身の姿を鏡に映して自問自答しました。正直に告白します。いま、ニッソーモールは時代をとらえていない。お客様の期待に応えられていない。「生まれ変わるべきだ」。しかも、大胆に。ただのリニューアルではなく、変身、革新、再生ともいうべきそれが必要だ。わたしたちは大きなプロジェクトの始動を決断します。約1年がかりの4段階に分けた変身です。外観は大きく変えません。上っ面のイメージチェンジはいらない。お客様の求めているものを真摯に受けとめ、利便性を徹底追及することに力を注ぐ。その結果、わたしたちは地域の人々の日常生活を楽しくする存在になる。生活に必要なものがほぼワンストップで揃う場所になる。これがプロジェクトの決意です。この再生計画は「Four Leaf For Life Project」と名づけます。しあわせの象徴である四葉のクローバーをモチーフに、4つのリーフを1葉ずつ完成させます。そして、4つのリニューアルステップごとに4つの約束を掲げていきます。四葉のクローバーが出来上がったとき、いったいどんなニッソーモールが誕生するのか。わたしたちの変身から目を離さないでください。

『Four Leaf For Life Project』。2013年秋へのカウントダウン。グランドオープンにむけた4段階の変身が始まっています。

1 One Leaf Promise ニッソーモールはコミュニティになります。

美味に彩られたフードコートが1階に誕生します。お客さまが集い、交わり、語りながら、おいしい時間を過ごしていただけるフードコートは、地域のみなさまの笑顔があふれるコミュニティに。新生ニッソーモールのキーワードはショッピング&コミュニケーション。どうぞご期待ください。

2 Two Leaf Promise ニッソーモールはチャージスポットになります。

いまの気分ぴったりの元気なお店が続々と誕生します。こころ躍るアイテムがたくさん揃ったフロアは、みなさまの日常をより充実させるワクワク&ドキドキ空間です。2枚目の“リーフの約束”は、みなさまを楽しませて、元気を注入(チャージ)すること。用はないけど、つい足が向いちゃう、そんなモールに変身します。



2013年初夏
coming soon

2013年秋
coming soon

3 4

4月25日 木 第2弾リニューアルオープン